

# いせさき明治館100年

伊勢崎

## 市民団体が祝いイベント開催

子どもたちによるケーキカットも行われた



伊勢崎市曲輪町の「いせさき明治館」が建築から100年がたったことを記念し、市民らによる

実行委員会が、イベント「いせさき明治館100年物語」を、7月から2013年3月にかけて行う。100歳の誕生日に当たる7月11日には、地域の子どもたちを招いた「100年アニバーサリー」が行われ、記念のケーキカットやミニコンサートが行われた。実行委員長 栗原昭矩さん(55)は「実行委員会には、市内15団体が参加している。100年を経たまちの元気を発信していきたい」と話している。同館は1912年に医院として建設。伊勢崎保健所や民

### 【今後の主なイベント】

- 10月20、21日 光のページェント・いせさき燈華会
- 11月18日 親子で楽しむ「明治館周辺まち歩き」と「明治館パークラフトづくり」

間の黒羽根内科医院として使用された。2002年に市に寄贈され、和洋折衷の構造は当時の時代背景を残すものとして移転・保存された。現在は観光拠点や伊勢崎銘仙の展示などに利用されている。今後の主なイベントは、次の通り。問い合わせは、同館(0270・40・6885、月・火曜休館)へ。

# 繊維技術 + みんなのアイデア

## 「地域コミュニティブランド」推進中

桐生



商品開発の打ち合わせを行う学生たち(朝倉染布)

「地域コミュニティブランド」の取り組みが、全国で初めて桐生市で行われ、活発化している。推進母体の「桐生布テク協会」(小保方貴之理事長)は現在、学生コンペディションによる商品開発を、地元4社と協力して推進中で、8月末には、超撥水加工のパーカーなど、桐生の技術と学生のアイデア

アが生かされた新商品が登場する予定だ。桐生布テク協会は2011年11月、桐生商工会議所、桐生織物協同組合、デザイナー、商店主、大学教授らがメンバーとなり発足した。取り組みの一つ、学生コンペによる商品開発では、前橋市の中央工科デザイン専門学校生らのアイデアの製品化がスタート。例えば、超撥水加工のパーカーは、「スタイリッシュなレイアウトなら若者やアウトドア愛好者が着る」という発想で、消費者のターゲット層も明確だ。

学生コンペのほかにも、工業デザイナー・手島彰さんがチャイルド

シートを活用した商品を手がけるなど、多岐にわたる商品開発が行われている。地域コミュニティブランドは、崇城大(熊本県)の星合隆成教授が提唱。誰もがものづくりに参加できる環境を作り、生産者から消費者まで、皆を活動に巻き込んでいく。例えば、コンペで学生のアイデアを取り入れたり、製作過程をインターネットで発信し、見た人の声を商品へ反映させたり、といった方法だ。小保方理事長(39)は、「地域コミュニティブランドは、桐生の繊維産業の新しい可能性を生み出すと思う」と力を込める。詳しくは、インターネットサイト、または同協会(0277・20・7800)へ。

<URL> <http://www.nunotech.com/>

# あなたの街のよみ得シヨップ

このコーナーでは、「よみ得トレード券」(お買い物券)を使える加盟店を紹介します。トレード券は、読売新聞の購読に応じて、YC (読売センター)が発行する「よみ得ポイント」をためると、交換できます。ポイント数は、領収証などでお知らせしています。詳しくは、お近くのYC (読売センター)へ。  
※伊勢崎市全域と太田市の一部では、トレード券を扱っておりません。また、ポイントサービスのないエリアもございます。ご了承ください。



提携店の目印は  
よみ得シヨップ